

米づくりは大変そう

栗原小学校 四年 恵谷 柚己

「ばば、すごい水が流れとる。水路からは
み出して、すごい速さじゃ。」

ぼくは、八月八日にみお調の高岡さんの田んぼを見に行きました。ぼくは、田んぼに流れこむ水の勢いにびっくりしました。

五月十二日に、田植えを見学しました。おじちやんが機械で植えた後、田んぼの角の方は機械で植えることができないので、おじち

やんが、

「田植えをしてみるか。」

と、言ってくれました。田んぼの中は、入るとしずみそうで、ちよっど気持ち悪そうでした。だまっっているとばばが、

「させてもらい。」

と、言われたので、田んぼの中に入りました。

予想通り、歩くことができませんでした。次の足を出す時、だれかに手を持ってもらわないと、こけそうになりました。何歩か歩いて

いろと、少しずつ歩けるようになった。きました。すると、おじちゃんかなえのかたまりをほくの近くに投げて、

「二、三本ずつ取って植えてみ。」

と、言いました。三本ぐらい持って田んぼに植えました。土はがわらかかったので、けっこうかん単に植えることができました。ばばか、

「たてと横をそろえて植えろんよ。」

と、言ったので、まわりを見て植えていきま

した。おじちゃんが、

「上手じゃのう。」

と、言ってくれたので、うれしかったです。

田植えが終わって、足を洗うために水路に入りました。とても冷たくて気持ちよかったです。洗わずに遊んでいたのでおこられました。水はとう明でゆっくり流れていました。雨がふり始めたので、帰りました。

七月十二日、いねはほくのこしあたりまで大きくなっていました。田んぼの土が少しひ

びわれしていました。どうしてかなあと思
ました。おじちゃんに聞くと、中ぼしとい
ことをしたそうです。これは、根をはらせて
もっともつと大きくするためだそうです。本
当は、十日間くらい田んぼの水をぬいて中ぼ
しをするそうですが、今年は長雨のためにあ
まりできなかつたそうです。

七月二十五日、ぼが出始めると、田んぼに
たくさん水をいれるそうです。八月八日に
見たのは、まさにその時でした。おじちゃん
は、毎朝田んぼに水を入れるようにしてから
仕事に行くそうです。いねかりの一週間前
くらいまで、水を入れつづけるそうです。

ぼくは、み調のごはんが好きです。きゅう
食に出てくるごはんは、家のごはんと同じく
らいおいしいです。おじちゃんのように、た
くさんの農家の方が、いろいろとお世話をし
てお米を作っていることが分かりました。ぼ
くは、早くおいしい新米が食でたいです。